

すべての民族が救われるまで

今年5月9日から16日まで、イスラム教徒が多い国々でイエス・キリストを宣べ伝えたニュース。

あなたのみことばはともしび、光です

死の陰の谷を歩くことがあっても、いつも行く手を明るく照らしてくれる光があるなら、恐れたり心配したりする必要がない。

カレンダーの中の奥義

誰でも毎日見ているカレンダーもイエス・キリストの誕生が歴史的事実であることを証明している。

支教会8月スケジュール

「主の恵みで全部解決されました！」

産後の体調不良とうつ病がいやされ、肥満まで解消された韓国のオ・ヒジョン執事と、聞こえなかった耳が聞こえてうつ症状もなくなったモンゴルのバヤルサイハン聖徒の証し。

万民ニュース

第201号 2019. 7. 28.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7063

www.manmin.org

伴うしるしで宣べ伝えられたイエス・キリストの福音!

アラブ首長国連邦、エジプト牧会者セミナーおよびハンカチ集会



今年5月9日から16日まで、アラブ首長国連邦のシャルジャ、エジプト、レバノンでキル・テシク牧師(テジョン万民教会担任)を講師に、牧会者セミナーと神の力のハンカチ集会などが行われた。

イスラム教国家であるパキスタンのキリスト教リバイバルに大きい影響を及ぼした「2000年イ・ジェロク牧師招へいパキスタン連合大聖会」以降、パキスタン宣教を持続的に進めている中で、中東で活動する牧会者に聖潔の福音と神の力あるわざが伝えられて中東宣教が活発に行われている。



最初の日程として5月9日(木)、アラブ首長国連邦シャルジャのライアン・ホテルでシャルジャ牧会者セミナーが開かれた(写真1,2)。

堂会長イ・ジェロク牧師の世界宣教の働きを紹介するビデオ「神の力」上映の後、講師キル・テシク牧師は「神の力が伴う働き」(使2:22)というタイトルで「神様は今日も大いなる力と不

思議としるしで福音を確かに証しておられます。このように神の力を行えるのは、聖なる生き方を基に断食と祈りを通して可能なのです」と述べ、まことの神のしもべとして備えるべき資格について伝えた。参加した牧会者たちは、尊いいのちのみことばに感動したと告白した。

10日(金)、バシル・バハドゥル牧師が担任する、シャルジャのパキスタン系の教会でハンカチ集会(使19:11~12)が開かれた。キル牧師は「光の中にとどまる時の祝福」(ヨハ1:5)というメッセージを伝えた後、イ・ジェロク牧師に祈りを受けて神の力が込められたハンカチで全体のために祈った。すると3年間聞こえの悪かった聖徒がよく聞こえるようになり、ある聖徒は6か月ものひどい背中の痛みが直ちにいやされるなど、証しが続いた(写真5,6)。

この日の午後4時には、アラブ首長国連邦の首都アブダビにある教会で神の力のハンカチ集会が行われた。講師キル牧師は同じメッセージを伝

えた後、全体のために祈った(写真3)。その結果、2か月間膝が曲がらなかった聖徒が聖霊の火を受けて曲げられるようになり、腕が上がらなかったのに腕を自由に上げるようになり、いろいろな痛みがなくなるなど、聖霊のみわざを体験した聖徒たちが前に出て証しをした(写真7,8)。

担任牧師は「きょうのメッセージはすばらしかったし、直ちにたくさんの聖徒がいやされたのを見て、本当に驚きました」と感謝し、今後とも訪問してほしいと依頼した。



12日(主日)午前には、エジプトのペンテコスト教会でハンカチ集会が開かれた。キル牧師は「世界の始まる前から隠されていた奥義」(コリ2:6~9)について伝え、講壇で全体のために祈ると、多くの聖徒がいやしのみわざを体験した(写真4)。

マリーナ姉妹は5年間、毎日泣くほど深刻だった頭痛が、オム・エマド聖徒は25年間ものひどかった咳がいやされた(写真9,10)。この他にも乳腺の

疾患、子宮の腫瘍、肩の痛みなどがいやされて、神に栄光を帰した。

この日の夕方、キル牧師はアジズ・モルガン牧師(万民ファンデーション代表)が牧会する教会でメッセージを伝えた後、神の力のハンカチで祈った。その結果、アミラ聖徒は先天的に腎臓が一つしかなく13年間苦しんでいたが、祈りを受けた後に痛みがなくなり、マグディ聖徒は3年もの背中の痛みがいやされた(写真11,12)。

13日(月)には、エジプト万民ファンデーション牧会者セミナーが前日の夕方集会の場所で行われた。キル牧師は「神の力が伴う働き」(使2:22)というタイトルで「牧会者がみことばどおり生きることが重要で、神様を恐れるとは何か悟らなければならない」と伝えた。

最後の宣教日程はレバノンで行われた。15日(水)には、現地の牧会者たちに会って万民の働きを伝え、16日(木)にはある教会に招かれて挨拶の言葉を述べ、今後の宣教の協力について話合った。

「神は光であって」シリーズ8

あなたのみことばはともしび、光です

「私は老人よりもわきまえがあります。それは、私があなたの戒めを守っているからです。…あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。」
-詩篇119:100~105-

“ 神の戒めを守ればわきまえが得られ、行く手が明らかに見えるのでさまよう必要がなく、近道をすみやかに見つけて行くので神に大いに栄光を帰すようになる。 ”

堂会長イ・ジェロク牧師

人生の旅路で、時には死の陰の谷間を歩くことがあったとしても、いつも行く手を明るく照らしてくれる光があるなら、恐れや心配したりする必要はないだろう。まして光そのものであられる神が私たちの行く手を明るく照らすともしび、光となってくださるなら、少しも立ちふさがられることなく、つらいことも全くない。

それでは、私たちはどうすればあらゆる試練と患難から救い出されて、いのちと平安に至ることができるだろうか。神の戒めを守ればわきまえが得られ、行く手が明らかに見えるのでさまよう必要がなく、近道をすみやかに見つけて行くので神に大いに栄光を帰すようになる。

1. 人生のともしびと光になる神のことば

〈詩篇119:100〉に「私は老人よりもわきまえがあります。それは、私があなたの戒めを守っているからです。」とある。「わきまえ」とは、霊的に道が明らかに見えることを意味する。すなわち、神の戒めを守る人は道が明らかに見えるので、老人よりもわきまえがある、ということである。

それでは、神の戒めを守る人にわきまえがあることを老人と比較する理由は何だろうか。ここで「老人」とは、単に年が多い人を意味するのではなく、人生の豊富な経験と知恵を通して物事の筋道をわきまえている賢明な人のことを言う。歳月が流れるにつれて人生の年輪が重なり、わきまえる力が優れている人を老人にたとえたのである。

このように人生経験が豊富な人にわきまえる道を提示されてもより良い生き方ができるのに、知恵の初めである創造主の神により頼むならどうだろうか。

神は全知全能なので、すべてのことを予知される

だけでなく、人生の初めと終わりを聖書に全部記しておかれた。だから、私たちが神により頼んで、そのみことばに従って行くと、世のどんな道より確かであり、決して崩れるはずがなく、左右に偏って揺るぐわけではない。

したがって、人生を価値あるように尊く使う方法は、何より神のみことばを足のともしび、道の光とするところにある。

2. 神のみことばが足のともしび、道の光になるには

第一、あらゆる悪の道から足を引き止めなければならない。

〈詩篇119:101〉に「私はあらゆる悪の道から私の足を引き止めました。あなたのことばを守るためです。」とある。ここで「足」と言うのは、私たちがどこに向かって行くかを決めるに従って、そのまま動くからだの部分足だからである。すなわち足とは、霊的に、歳月の流れと人が何を追求していくかをはじめとして、人生の全般的な過程を意味する。したがって、「あらゆる悪の道から足を引き止めた」とは、悪事を計らず、加わらなかったし、ただ良いわざに努めた、ということである。

ユダの第10代王であるウジヤは16歳という若さで王位に上がって、統治の初期には善政を施してユダを繁栄させた。へりくだって神だけに頼るので、領土を拡張して周りの国々からみつぎものを受け取るなど、ソロモンの統一王国以来最も栄えた国家を作り上げた。

ところが、神の恵みによって国が富強になると、高ぶって悪の道に足を踏み入れるようになった。祭司だけができることを越権して自分がしようとしたのだ

(II歴26:16)。このことで神の御怒りが臨んで、彼はツアラアトに冒され、死ぬ日まで隔ての宮に住まなければならない、悲運の王になってしまったのだ。

これとは違い、ヨセフは悪の道から足を引き止めて、ただ神の御前に正しい道を守ったので、濡れ衣を着せられて監獄に入れられたが、かえって祝福が臨んだ。神が下された知恵で王の夢を解き明かし、エジプトの統治者という地位にまで上がるようになる。このように悪から離れて、ただ神のみことばのとおりに行くと、天から知恵が与えられ、何をしてもわきまえがあり、成功する道に導かれることができるのだ。

したがって、悪を避けることが神の戒めを守ることにおいて最も優先であり、老人よりもまさるわきまえを得る方法であることを知り、悪はどんな悪でも避けて、へりくだって神だけに頼む賢い聖徒になられるように。

第二、神の定めから離れてはならない。

〈詩篇119:102〉に「私はあなたの定めから離れませんでした。それは、あなたが私を教えられたからです。」とある。「あなたの定め」とは、代々守りなさいと仰せられた神の命令であり、一定の規則とおきてと制度のことを言う(出12:17;レビ16:34;I歴23:31)。神はイスラエルの民に定めを代々守るように命じられたが、これはただ彼らにだけ当てはまるのではなく、今日、神を信じるすべての人に同じように適用されるみことばである。

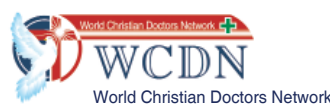
かといって、旧約時代にイスラエルの人々が行ったすべての儀式を、今日そのとおりにまねしなさい、と言うのではない。すなわち、旧約では肉の割礼をし



Tel: 82-2-818-7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: jujinkyung@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcntv.org
e-mail: webmaster@gcntv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒08389 韓国ソウル市クロ区デジタル路26キル29
TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048

たが、新約時代になったら心の割礼をするように、定めもやはり、その霊的な意味を継承して守ることが重要なのだ。

誰でもすべての神の定めから離れないで守っていけば、結局悪から離れることができる。人が神の定めから離れるほど、敵である悪魔・サタンが心に真理でないものと悪を満たすようになる。しかし、ただ真理である神のみことばで満たしていけば、心に真理でないものが積まれる間がないだけでなく、毎日聖で完全な人へと変えられるのだ。まさにここに、人が神の定めを守るべき根本的な理由がある。

北王国イスラエルの王アハブは以前のどんな王より悪い王で、異国の神々を拝み、はなはだ神の御怒りを引き起こした。反対に、同じ時代の南王国ユダの王ヨシャパテは神の目にかなうことを行った。一度はヨシャパテ王がアハブ王を助けて、アラムとの戦いに参加することになった。戦闘に臨むとき、アハブ王はひょっとして敵軍が自分が王であることを知って殺すのではないかと考えて、変装までして群衆の中に入ったが、反対にヨシャパテ王は王服を着たまま戦う。ところが、激しい戦いのさ中、敵軍の手で死んだのはアハブ王だった。死んだ後には、エリヤが預言したとおり、その血を犬がなめるといはずかしめまで受けなければならなかったのだ。これはまさに神の定めから離れて悪を行う人の末路がどうなのかをよく示してくれる例である。

南王国ユダのヒゼキヤ王は【主】の目にかなうことを行って、神により頼んだ王である。神がともにおられたので、どこへ出陣しても勝利を取めた(II列18:6~7)。一度はアッシリヤがユダを侵略して国が危うくなったが、この時、ヒゼキヤ王が神に祈ると、【主】の使いが出て行って、一夜の間にアッシリヤの陣営で18万5千人を打って、死体となるようにした(II列19:35)。

このように、神の定めを離れなければ、今後の事を見通せるようにわきまえが与えられ、またそれによって方法論を立てていけば、すべてのことに榮える道に導かれるのだ。

第三、神のみことばを蜜を食べることより慕わなければならない。

〈詩篇119:103〉に「あなたのみことばは、私の上あごに、なんと甘いことでしょう。蜜よりも私の口に甘いのです。」とある。このように神のみことばを慕った聖書の人物としては、ダニエルが挙げられる。

ダニエルはユダ部族に属する王族で、紀元前605年、バビロンの王ネブカデネザルの第1次侵入の時に捕虜として連れて行かれた。ところが、バビロン帝国が融和政策の一環として、捕虜の中から王宮に迎えるにふさわしい少年たちを選ぶとき、ダニエルもそのひとりに選ばれて王宮に入ることになった。三年間、王が指定した王のごちそうを食べて、ぶどう酒を飲まなければならなかったのだ。

するとダニエルは、たとえ捕虜の身であっても神の御前に心を定め、身を汚さないために十日間、野菜を食べて水だけ飲むようにしてほしいと宦官の長に願う。王の食べるごちそうの中には、偶像に供えた物や忌むべき動物の肉など、神の禁じられた物があるのではないかと心配したからである。

それで十日間、試験的に行った結果、ダニエルの顔色が王のごちそうを食べているどの少年よりも良く、からだも肥えていて、結局王のごちそうを食べてぶどう酒を飲まなくてもよくなったのだ。このようにダニエルは永遠のいのちに至らせる神のみことばを蜜

のように食べたので、その人生がまことに価値あって成功した。捕虜の身分から一国の大臣になるかと思えば、獅子の穴に投げ込まれたが害をこうむらず、かえって生ける神に大いに栄光を帰すことができたのだ。

ダニエルのように神のみことばをどんな蜜より甘くておいしそうに食べるなら、すなわち、世のどんなものより尊く思っていくなら、神のみことばがともしびであり、光になるので、あらゆる試練と患難から救い出されて、いのちと平安に至るようになる。

第四、偽りの道をことごとく憎まなければならない。

〈詩篇119:104〉に「私には、あなたの戒めがあるので、わきまえがあります。それゆえ、私は偽りの道をことごとく憎みます。」とある。それでは、なぜ神の戒めによってわきまえのある人になれば、偽りの道をことごとく憎むようになるのだろうか。

神の戒めを守れば、そのみことばがすべての問題の答えとして与えられるので、道が明らかに見える。このようにわきまえを得て、正しい正しくないを正確に見分け、善と悪、いのちと死が区別できれば、自然に、真理を曲げさせて滅びに引いて行く悪を憎むしなくなる。

たとえば、何も知らない幼子の時は、からだや服に汚物がついても別に気にしないで、ただ遊ぶことに余念がないが、次第に育ちながら知識を学ぶようになれば、汚物が汚いものと知って、水で洗うかぬぐい取ろうとする。このように汚いものときれいなもの、不潔なもの清潔なものを区別することはまことに重要である。

このような相対性の原理は霊的な世界でもそのまま適用される。すなわち、罪が何か、どれほど汚れていて醜いものかを知らない時は、自分の中に罪があってもそれほど深刻に思わない。しかし、真理のみことばに照らされて罪ととさばきについて悟るようになれば、罪を憎んで遠ざける人になるしかない。

それなら、私たちが主にあつてわきまえのある者になってことごとく憎むべき「偽りの道」とは具体的にどんなものだろうか。

第一に、口から出る言葉において、悪い言葉、ねじれた言葉、真実でない言葉、逆らう言葉、欺く言葉、偽りの言葉、悪口、無益な言葉、つぶやく言葉などである。

第二に、人を欺くことである。たとえば、商売をする人が品物の代金をだまして不当な利益を取ったり、正しいことを正しくない、正しくないことを正しいと言ったりすること、約束を守らないことなどが人を欺くことである。

第三に、蒔かないところから刈り取ろうとすることである。自分が努力したこと以上のものを得ようとして、一攫千金を狙うこと、雲をつかむようなことを望むことなど、このすべてが神の公義を無視する道であり、結局神に嫌われるようになる。

ここで「偽りの道を憎みなさい」とは、わだかまりを抱くとか、怒りなさいという意味では決してない。霊的に悪を憎むということは、すなわち悪を捨てることで、善をもって悪に打ち勝つことであり、自分で復讐をしないで、神の御前にすべてをゆだねることを言うのだ。

また、罪は憎むものの、罪を犯した人については七度を七十倍するまで赦して憐れみを施し、孤児ややめなど疎外された隣人の世話をすることなどが悪を憎むことである。このように偽りの道を憎んで、ただ真理に従って行ってこそ、からだもたましいも安全に守られる祝福を頂くことができる。

愛する聖徒の皆さん、
「あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。」という告白が皆さんの告白になって、神を避け所としてすべてのことに榮えて、幸せで美しく、成功の人生を送られるように、主の御名によって祈る。

Tip

カレンダーの中の奥義、B.C.とA.D.

全世界で広く使われているカレンダーの中には、驚くべき事実が隠されている。カレンダーが制定される時、イエス様のお生まれを基点にB.C.とA.D.に区分したのだ。これは紀元前、紀元後とも言う。

イエス様がお生れになった年を紀元、すなわち基準として、それ以前とそれ以後のつながりを現わす。B.C.とは「キリスト以前」を意味する英語'before Christ'の略語だ。A.D.とは「主の年に」という意味のラテン語'Anno Domini'の略語である。このように西洋でイエス様がお生まれになった年を紀元、すなわち年度を数える基準としたということは、イエス様のご誕生が歴史的事実であることを証明している。

紀元による年代表記は525年、スキタイ出身の年代史家で神学者のディオニュシウス・エクシグウスが教皇の命を受けて著述した『復活祭の書』から始まり、9世紀、シャルルマーニュ時代に一般化されて今日に至った。



2019年 万民中央教会 カレンダー



「聞こえなかった耳が聞こえて うつ病がなくなって夢のようです!」

パヤルサイハン聖徒(42歳、モンゴル万民教会)

今年5月、神の力のハンカチ集会が開かれるが、そこに参加して祈りを受ければ神様がいやしてくださる、という知らせを聞きました。私は病気の問題を必ず解決していただこうと思って、モンゴル万民教会に登録しました。

23歳の時からホコリが多い衣類工場で働いたからか、右目からはいつも涙が流れていたし、薬を間違っただけで飲んだ後は右耳が聞こえなくなったのです。何より2年前、母が亡くなった後は、その悲しみで無気力になり、いつも憂鬱だったのです。それで人目を避けて歩いて、おもに家にだけいました。



5月17日、私はウランバートル万民教会のハンカチ集会に参加しました。講師イ・ミヨン牧師先生が堂会長イ・ジェロク牧師先生が祈って神の力が込められたハンカチ(使19:11~12)で祈ってくださったとき、私に驚くべきことが起きたのです。全身に熱さが臨むと、全然聞こえなかった右耳が少しずつ聞こえ始めたのです。次の日、イ・ミヨン先生と聖徒たちの交わりの時間には、もっとよく聞こえました。その上、右目からいつも涙が出ていた症状もなくなりました。

これだけではなく、祈りを受けたとき、突然手がひどく震えて、私の意志と関係なく倒れたのですが、私の中から悪い霊が出て行くのを感じました。その後、人をまともに見つめることができたし、体の震えもなくなったのです。ハレルヤ!



今、体調はさらに良くなって、正確に聞けるようになったし、心がとても安らかです。自由に外に出て、人と話を交わして楽しく過ごしています。何より地獄のようだった人生が天国に変わりました。

このように私がいやされて、夫(カンボルガ)も祈りを受けた後、右目の視力が良くなって、私は「本当に神様は生きておられるんだ! 天にまことの神がおられるんだ!」と確信するようになりました。今、うちの家庭は主の愛で幸せです。私に出会ってくださったいつもしみ深い神様にすべての感謝と栄光をお帰しします。

「主の恵みで産後の体調不良とうつ病、 肥満まで全部解消されました!」

オ・ヒジョン執事(44歳、韓国3大大31教区)

2008年、三人目の子を出産した後、体調が悪くなりました。寒気がして関節がひどく痛んだのです。その上、2010年の夏、四人目を産むと、体調はさらに回復せずに関節の痛みもひどくなって、一年中寒くて、冬は帽子をかぶって、使い捨てカイロまで必ず帽子に入れなければなりませんでした。

からだが強くなると、退勤して家に帰って来れば倒れて寝て、ストレスを受ければ食べては寝るを繰り返して、体重が増えました。2012年、万民中央教会に通いながら体調はずいぶん良くなったのですが、完全にいやされない状態で歳月だけが流れました。

そうしていた2017年、新年を迎えて、私は何か信仰の突破口を見つけたいと思いました。ちょうど万民祈禱院の特別な集会があったので参加したのですが、イ・ボンニム院長先生は私の肥満のために、ダニエル徹夜祈禱会を7週間定めて祈りなさい、とアドバイスしてくださったのです。でも定められた祈りが守れなくて、体重は5キロ増えて、158センチの身長に75キロを超えました。



さらに2018年春、職場でも問題が起きました。私は小学校で特殊支援学級の教師として勤めているのですが、私の過ちで発生した事について説明する過程で誤解が生じて、それ以上調整できなくなって事が大きくなったので、出勤もできなくなりました。それと同時に心が抑えつけられてつらかったのですが、それがうつ病の始まりだったのです。

誤解されたことがあまりにも悔しくて恥ずかしかったし、すべてがうまく行かなくなると、胸がドキドキ

てひどく不安だったし、不眠症状も現れました。病院で検査した結果、「中度うつ病」と「急性ストレス性障害」と診断されました。その時はじめて私は父なる神様を捜すようになりました。

再び万民祈禱院のいやしの集会に参加して説教を聞きながら、私の義と枠、高ぶり、相手のことをわかってあげない心を発見したし、みことばに照らしてふさわしくない過去の姿まで思い起こさせてくださると、涙で悔い改めて立ち返る恵みが臨みました。それに前回守れなかったダニエル徹夜祈禱会7週間の定められた祈りも、無事終えることができたのです。

このように霊的な満たしを取り戻しながら、私はいつの間にか疲れに打ち勝っていききました。食欲を抑える力も湧いて来たのです。昼間は祈禱院の午前礼拝と午後の祈禱会、夜はダニエル徹夜祈禱会に参加すると、普段より寝る時間が減ったのに、前のように具合が悪くもないし平気だったのです。祈禱院の集会に通った8か月間で、体重も17キロ減りました。

何より驚いたのは、2018年の冬は寒いと感じないで過ぎたし、カイロを一度も使わなかったということです。みことばと祈りを通してうつ病、ストレス性障害も完全にいやされて、2019年3月には復職して、職場生活も幸せな心で元気になっています。ハレルヤ!

たましいに幸いを得ているようにすべての点でも幸いを得るようになり、霊肉ともにいやしてくださった愛なる神様にすべての感謝と栄光をお帰しし、私を救い出してくださった主に感謝します。また、いのちのみことばで祝福の道へと導いてくださる堂会長先生にも感謝します。

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

• イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石
3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>

• イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢
1486-4
T) 0237-43-0771

• イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4
条3丁目11-23
T) 0166-53-0652

• イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003

• イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪
2-29-13
T) 03-6915-1740

• 名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市名東区上菅
1-916
T) 052-774-8874

• イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町
4-41
T) 0977-23-8980

• イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3
丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>

• 岡山万民教会
〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢
3206
T) 0866-57-9691

• イエス・キリスト沖縄万民教会
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-
10 サンライフ米須301号
T) 098-914-3027